

フォトニュース

大きなおイモみ～つけた！



▲10月21日、猪名川保育園の3・4・5歳児の71人が、差組地区の畑でイモ掘りを楽しみました。このイモ掘りは、町学童農園設置事業の一つで、町が作物の管理を農家に委託して、秋の恒例行事として行っています。園児達は、まるまる育った大きなサツマイモを見つけては、歓声をあげていました。

歌舞伎役者の衣装で熱演



たくさんの来場者でにぎわういながわまつり



▲11月3日、「第42回いながわまつり」が総合公園・文化体育館・生涯学習センターを会場に開催されました。ハッピーズのお姉さん達による「ハッピーコンサート」などがまつりに華を添え、町内外から約3万人が参加する盛大な催しとなりました。

▼土の中からお芋が見えた時は、みんなが笑顔になっていました。
坂根 幸陽くん(年長)



猪名川幼稚園



▲運動会にダンスをしました。ポンポンをもってお友達と楽しく踊りました。
新開 星奏ちゃん(年少)

◀みんなが協力し合ったパラバルーン。たくさんの笑顔が見れました。
荒木 理沙ちゃん(年長)



▼みんなでおいもほりにいって、とってきたおいもです。
小橋 空くん(年少)

いながわ 歴史ウォーク ⑧

猪名川町域の森林と木畑

山々が冬の支度を始め、紅と黄色、橙色が深い緑との美しい協奏曲を奏でているかのようです。

母なる川「猪名川」とともに町域の自然を形作る山々は人々に豊かな山の恵みを与え続けてきました。

奈良時代には、木津(楊津)を北部の木材の集積地とし、また三草山周辺からも猪名川下流へ木材を送り、猪名部という木工集団によって加工された材木や船などが朝廷に収められました。

江戸時代には、幕府直轄の御用林「御林」が鎌倉にあり、材木が二条城などに使用されました。天保14(1843)年の鎌倉村絵図や西畑村絵図には「キハタ」「木

畑」と書かれたかなりの面積の畑が

ありま

す。これ

は樹木の

苗木畑と

思われ、

森林の保

全・管理

が行われ

ていたことが分かります。

前年には

鎌倉村が「御林改入用一」を一村で

はまかなえないとして郡中割変更



鎌倉村絵図

みんなでまちを守ろう！



▲10月17日、白金小学校で合同防災訓練を実施しました。初期消火・応急手当・煙体験などが実施され、参加者約千人は、実際に消火器を使って火を消したりと、いざという時のための訓練を行いました。

▲10月16・17日、杉生地区の八坂神社で、秋まつりの恒例行事となっている子ども歌舞伎「練り込み」が行われました。練り込みは、江戸時代から始まった農村歌舞伎の流れをくむもので、杉生・西畑地区の4歳から15歳の子ども達が衣装に身を包み、化粧をして地区内を練り歩きました。

軽スポーツに挑戦



▶10月12日の体育の日、町スポーツセンターで恒例の「いながわスポーツ祭」が行われました。子どもから大人まで約2600人の参加者は、ペタンクやグラウンドゴルフなどに挑戦し、心地よい汗を流しました。